

第1回世界に誇れる環境先進都市かめおか協議会（10：00～11：05）  
議事要旨

◇開 会

◇議 事

議題1「これまでの取組について」（事務局説明）

※ プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する調査について（亀岡商工会議所）

当初、1月から施行について、コロナ禍のスタートでは不安があり、市長・議長に対して施行期日の延期を要望したが、最終的に予定通りの施行となった。

亀岡商工会議所では、3月下旬から4月に会員向けに簡易な調査を行った。

制度のスタートについては、スムーズ・トラブルはなかったが8割以上（スムーズであった44%、大きなトラブルはなかった42%）の回答だった。制度の理解については、理解されていた39%、概ね理解されていた42%と、8割の方が理解されていたという回答だった。代替袋の調達については、共同購入33%、個別調達44%。マイバック・エコバックの持参については、ほとんど持参50%、6～7割が持参28%と持参率が高かった。

自由記述の意見では、「市外からのお客様への説明に時間を要した」、「コンビニ等でまとめ買いができない」との声もあった。これについては、少し消費抑制につながっている可能性があると思われた。また「不要な紙袋を購入させられた」という苦情があったとの報告もあった。共同購入の紙袋については、「サイズがない、耐重性が不足」との声があり、結果として共同購入につながらなかった。

総じてネガティブな意見なく、制度への理解を示す声があった。今後も時間をかけて亀岡市から制度の浸透を図るようお願いしたい。

（亀岡地区東部自治会）

条例施行は予定通りを望む立場だった。事務局（亀岡市）の広報や支援、またマスコミ（京都新聞を含めて）に取り上げていただくことで、多くの方に理解を得られたと考えている。

これからのシーズン（夏）、ペットボトルのゴミが増えてくる。今後は、その削減が必要になるので、その啓発が重要だと思う。色んな立場の方が、同じ目標に向かって取り組んでいければいいと思う。

(NPO法人プロジェクト保津川)

保津川では、以前からBBQゴミが問題になっている。GWに毎年、一斉清掃活動を行っている。レジ袋有料化前と比較するため、一昨年と今年を比較すると、ペットボトル180本が292本、レジ袋405枚が63枚という結果だった。レジ袋は、ほとんどは有料化前の物や市外から持ち込まれてるもので、市内で発生したものは見られなかった。有料化・条例の効果は、数字に表れている。

また、事務局から報告のあった河川モニタリング調査の結果でも、ペットボトルが多く見つかっている。詳徳小では、ウォーターサーバーが設置された。今後、使用が開始されるなど、ペットボトル削減につながる動きが広がっていけばいいと思う。

## 議題2「今後の取組について」(事務局説明)

### 議題3「環境拠点施設検討部会について」

- ※1 規約第7条第1項に基づく環境拠点施設検討部会の設置承認
- ※2 規約第7条第2項に基づく部会員の指名

## 議題4「その他」

(保津川の世界遺産登録をめざす会)

不法投棄が一向に減らない。罰則規定がある以上、その取り締まりをお願いしたい。

(亀岡市)

不法投棄については、継続したパトロールと回収を行うとともに、不法行為については警察等と連携して対応していきたい。

(亀岡地区東部自治会)

プラスチック製レジ袋の提供禁止について、「市外へのPR」の状況は？

(亀岡市)

JR改札口へのサイン掲示、ガレリアかめおかへの横断幕、京阪京都交通バスへのラッピング、市内小売店での啓発ポップの設置等を行っています。今後も効果的な啓発を検討していきます。

(NPO法人プロジェクト保津川)

亀岡市での取組を他の地域に広げていくことが重要だと考えている。

先日も南丹市殿田小学校で環境学習の機会をいただき、今後、学校で取組むとの声をいただいた。また、南丹市議会議員でその必要性を理解いただいて

る方もいる。

今後、本協議会で検討いただきたいことがある。

世界で生ごみを焼却処分しているのは、日本ぐらい。資源化しようという声が上がってきている。焼却するためにレジ袋、タイミーなどが必要になるので、今後、検討していけたらと思う。

例えば、「農産物を入れる袋」でプロデュースバッグ（Produce Bag）というものがあり、市内繊維関係の事業者と連携してHOZUBAGに続けられたいと考えている。

現在、レジ袋の代替品として紙袋となっているが、今後は生分解性のレジ袋のことも準備していかなければいけないと思っている。

駅北にオープンしたコーヒーショップが、建物の屋根に屋久島の風倒木を利用している。保津川には、多くの風倒木がある。搬出に課題はあるが、京都府を含めて、今後どのように資源として利用していくか考えていければと思う。

（亀岡商工会議所）

環境拠点施設について、もう少し説明いただきたい。

（亀岡市）

市民の方、関係事業者を交えてワークショップを開催し、どういった施設を作っていくかを考えいきたい。事務局でイメージしている機能は、「創業支援機能」「情報発信機能」「交流拠点機能」「活動拠点機能」を考えている。最終的には、参加者の皆さんの多様な意見を参考にして、考えていきたい。

◇閉 会